

EIIRISプロジェクト研究計画書(2023年度)

系・センター名 エレクトロニクス先端融合研究所

氏 名 大島 直樹

☐新規 ☒継続

研 究 課 題	ウェルビーイングを志向するロボティックインタフェース技術群の開発		
研究目的	(EIIRIS・VBLの研究テーマとの関連、および施設・設備使用目的を明らかに) EIIRISが狙う「革新センシング技術展開分野（ロボティクス）」のためのロボティックインタフェース技術群を開発する。具体的には、私たちのウェルビーイングの媒介を特徴とするソーシャルメディア、ロボティックインタフェース等を構築し、ユーザビリティテスト室でのインタラクション検証を重ねてインタラクションデザインをブラッシュアップするとともに、実社会に展開可能なインタフェース技術群として整備する（複数タイプを構築し、比較研究を行う）。 また、F棟1階106デモルームにて、実機のデモンストレーションを行い、メディア取材への対応や、本学見学者への説明など、広く研究成果を公開できる環境を整備することで、本学の技術力や発想、創造力などプレゼンス向上へ寄与する。		
研究計画及び方法	(過去の経過、研究準備状況等) これまでに、3つのクリーチャから構成されるラポルトーク（共感や関係性、ユーザの自律等を志向する雑談）の生成を特徴とするドライビングエージェント、ホームエージェント、ソーシャルメディア等を本学で試作、評価した。これらについて、その成果を論文誌に投稿し、掲載された。その成果は、本学EIIRISのホームページ（研究紹介）にも記載されている。 これまでに、研究に必要な実験設備、工房など、開発のための設備は確保できており、また関係教員とは常に情報交換をしている。実施に向けた連携体制はすでに構築できている。 これらを礎として、実社会に展開可能なインタフェース技術の開発をさらに加速させる。		
	(今後の研究計画及び方法、利用希望設備など、EIIRIS教員と打合せている場合はその状況) ・ 3系岡田教授、長谷川助教と連携して開発を進める。 ・ 実機のデモンストレーションは、F棟1階のデモルームで行う。		
EIIRIS・VBL内で研究プロジェクトを行う理由	EIIRISの最新設備におけるロボットデモンストレーションなどの研究教育活動は、将来、学生にとって有意義な経験になるものと考えられ、今後の有望な人材育成に貢献するものとする。本学のEIIRIS独自のユニークなインタラクティブ技術として国内外に大きなインパクトを与えるものにしたと考えている。		
研 究 組 織	研 究 者 氏 名	所 属 ・ 職 名	役 割 分 担
	(研究代表者は氏名の後ろに◎を付す) 大島 直樹 ◎ 岡田 美智男 長谷川 孔明 大学院生	EIIRIS・講師 3系・教授 3系・助教 3系	研究統括 インタラクションデザイン インタラクション評価 インタフェース開発、評価
研究期間： 2022年 4月 ～ 2025 年 3月(原則として3年間)			
(研究期間の始期は、研究を開始した年を記入する。終期は原則として、開始した年から3年後を記入する。)			